

NTTテレコン

ビジネスプラットフォーム提供

検針データを活用して

NTTテレコン（東京都台東区、深澤充社長）は、ガス事業者向けのプラットフォームとして「テレコン」をラインアップに加え、3月から提供を開始した。

プロパンガス業界は、高齢化に伴う機能的な人手不足により業務効率化が求められている。今回、LPGA（ローパワー・ワイドエリア）省電力でキロ単位の距離を通信できる無線通信

技術による集中監視システムの検針データを活用し、プロパンガス事業者の基幹業務のデジタルトランスフォーメーションを支援するプラットフォームサービスを提供することにした。

このサービスは、複数の集中監視システムから得られる検針などのデータを一元的に収集・管理しガス事業者向け基幹システムとの各種データ連携を可能とする「LPGAデータコネク

ト」と、毎日の検針データを有効活用しガスボンベの効率的な配送タイミングを指示する「配送マネジメント」の2つで構成されている。

今後のステップとして、「基幹業務システム」全般をフォローしていく予定。各事業者へのチューニングは、原則パラメータ設定にとどめ、極力カスタマイズを排する仕様として、最新のテクノロジと蓄積したノウハウをタイムリーに

アップデイトし、最速のリードタイムで提供する。またこのプラットフォームは、NTT東日本の信頼性の高いサービス提供基盤上に、最新のサイバーテロ対策をタイムリーに

実施した「マルチテナント型クラウドサービス」としてシステムを構築し、テレコンが一元的に提供している。

同社は、これからも身近な「Your Value Partner」としてIoTリアルソリューション

を提供、ガス事業者はじめる企業として貢献していく考えだ。

